

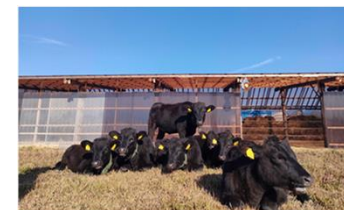
令和6年度 移住等の促進に向けた実証調査

新潟県 佐渡市

「学びと自然共生の佐渡島」

調査の目的

- 日本国内最大の離島で、豊かな自然環境と多様な文化が共存する佐渡島。少子高齢化や過疎化、教育へのアクセス不足といった課題の解決へ向け、自然と共生する「佐渡モデル」を学びの資源として活用し、新たな教育プログラムの開発を行いたい。
- 佐渡島における二拠点居住プログラムを通じて、都会と地方の二つの生活様式を融合した新しいライフスタイルの可能性を探る。参加者が**地域の課題に取り組みながら、佐渡島の自然や文化を学び、持続可能な社会の実現に貢献できるかを検証。**



視察先の循環型放牧施設

調査概要

参加者: 二地域居住や地方移住に興味のある若年層、都心から離れて子育てしたい家族、地方で事業を開始したい起業家（参加者21名）

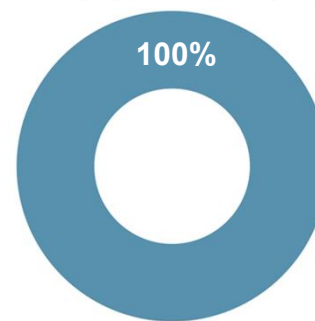
主要活動:

- 地域理解と課題認識のオリエンテーション
 - 地元の専門家や住民と共に佐渡島の自然、文化、歴史、地域課題を学ぶ講義を実施。
- リモートワーク環境の提供と地域参画
 - 参加者に快適なリモートワーク環境を提供。地域の企業やプロジェクトと連携し、地域参画型のワークショップを実施。
- 自然・文化体験と環境学習
 - 各集落の独自の文化（能、鬼太鼓など）の体験ワークショップを実施。朱鷺の保護活動や循環型農法(コンポスト作り、輪作システム、水の管理技術)を通し、佐渡島で実践的な環境保全を学ぶ。
- 魅力的な二拠点居住に関するワークショップの実施
 - 島内外の人々を集め、二拠点居住に魅力的な地域とは何かを考えるワークショップを実施。

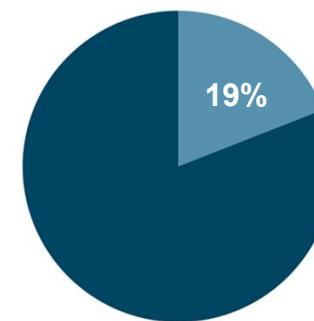
成果

- 佐渡島の課題に対する理解を深め、地域住民との交流が生まれることで、**参加者が継続的に佐渡島に来ることを決めることに繋がった。**
- 佐渡島での事業展開を本格的に検討する起業家が生まれた。
- 佐渡島の潜在的魅力を活かした**新たなプログラム、コンテンツを造成**することができた。

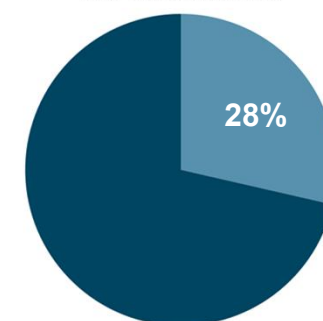
また佐渡を訪れたいと答えた参加者



既に佐渡を再訪した人



佐渡で事業展開を検討



今後の方針

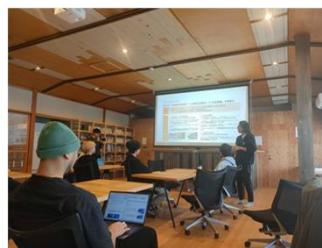
- 引き続き二地域居住の促進を立ち上げるべく、官民連携のもとガイドラインの作成、事業運営団体等の環境整備を実施。
- 起業家を二地域居住のメインターゲットとして定め、起業家育成及び起業家誘致の取り組みを加速させる。**
- 行政・地域事業者と連携し、交通の利便性向上に向け取り組むとともに、島内のコミュニティ醸成を進める。



充実したコワーキングスペース。



古民家改修の宿を利用してもらった。



有識者を交え二地域居住会議を実施。